

市制70周年記念 芸術鑑賞会事業

田村 響と セントラル愛知交響楽団 コンサート

【ピアノ】田村 響
©武藤 章

【演奏】セントラル愛知交響楽団

【指揮】柴田真郁
©T.Tairadate

【チェロ】佐藤桂菜

Program

モーツァルト

歌劇「フィガロの結婚」序曲

チャイコフスキー

ロココの主題による変奏曲 (チェロ：佐藤桂菜)

ベートーヴェン

ピアノ協奏曲第5番「皇帝」 (ピアノ：田村 響)

2023.1/21(土)

13:00開場 / 14:00開演

安城市民会館サルビアホール

安城市桜町18番28号 / TEL.0566-75-1151

※未就学児は入場不可 / 障がい者の方は証明書をご提示ください

全席
指定

■主催：安城市・安城市教育委員会

■問い合わせ先：安城市民ギャラリー [休館日：毎週月曜日]

〒446-0026 安城市安城町城堀30番地 / TEL:0566-77-6853 / FAX:0566-77-4491

チケット

一般 : 4,000円 (前売3,500円)
中学生以下 : 1,500円 (前売1,000円)

市窓口前売

初日前売 ▶ 日時：12月4日(日)午前9時から
場所：安祥公民館 2階 第2会議室
※車いす・要約筆記を必要とされる方は来館か電話受付
通常前売 ▶ 日時：12月6日(火)午前9時から
場所：市民ギャラリー

WEB・コンビニ前売

日時：12月4日(日)午前10時から
場所：チケットぴあ又はセブンイレブン店頭 (Pコード：229-249)

電話予約

日時：12月4日(日)午後1時から
お問合せ先：安城市民ギャラリー (TEL.0566-77-6853)

販売所：安城市民ギャラリー(前売初日を除く)・安祥公民館(前売初日のみ)・チケットぴあ

Hibiki Tamura & Central Aichi Symphony Orchestra Concert



©武藤章

ピアノ 田村 響 *Hibiki Tamura, piano*

2007年10月ロン・ティボー国際コンクールにおいて弱冠20歳で第1位に輝き、一躍世界に注目されるに至った。2009年2月ピシコフ指揮ケルン放送交響楽団の定期演奏会デビューと日本ツアーを行った他、これまでに、N響、読響、都響、新日本フィル、日本フィル、名古屋フィル、京響、大阪フィル、日本センチュリー響、東京シティ・フィル、神奈川フィル、仙台フィル、群響などと共演。日本各地でリサイタルを行う。

室内楽活動にも力を入れており、アントニオ・メネセス、宮田大、三浦文彰の各氏等と共演を重ねるほか、同世代のアーティストとも多数共演する。また、2019年3月にはマヌエル・ルグリがプロデュースするバレエ作品にも出演し、自身初となるダンス・ステージとのコラボレーションを果たした。

活動は日本をはじめ、フランス、オランダ、ドイツ、オーストリア、ポーランド、イタリア、ロシア、エジプト、ブラジル、中国、台湾、ベトナムに及ぶ。

1986年愛知県安城市生まれ。3歳よりピアノを始める。18歳でザルツブルク・モーツァルト音楽大学に留学。

2015年大阪音楽大学大学院修了。深谷直仁、清水皇樹、クラウドイオ・ソアレス、クリストフ・リースケの各氏に師事。これまでに4枚のソロCDをリリース。受賞歴は、2003年アリオン賞、2006年出光音楽賞、2008年文化庁長官表彰・国際芸術部門、2008年安城市市民栄誉賞、2009年ホテルオークラ音楽賞、2015年文化庁芸術祭賞音楽部門新人賞、2015年愛知県芸術文化選奨文化新人賞、2017年京都市芸術新人賞などがある。

現在、京都市立芸術大学専任講師、大阪音楽大学特任講師、名古屋音楽大学客員准教授。

指揮 柴田真郁 *Maiku Shibata, conductor*

1978年東京生まれ。国立音楽大学声楽科を卒業後、合唱指揮やアシスタント指揮者として藤原歌劇団、東京室内歌劇場等で研鑽を積む。

2003年に渡欧、ドイツ各地の劇場、オーケストラで研鑽を積みながら、04年にウィーン国立音楽大学マスターコースでディプロムを取得。修了演奏会でヴィディン・シンフォニーオーケストラ（ブルガリア）を指揮した。同年末には、ハノーファー・ジルベスター・コンサート（ドイツ）に客演し、プラハ室内管弦楽団を指揮。翌年末のベルリン室内管弦楽団にも客演、2年連続でジルベスター・コンサートを指揮して大成功を収める。

2005年、リセウ大歌劇場（スペイン・バルセロナ）のアシスタント指揮者オーディションに合格し、セバスティアン・ヴァイグレ、アントーニ・ロス＝マルバ、レナート・パルンボ、ジョセップ・ヴィセント氏等のアシスタントとして、様々な演出家や歌手と携わり上演で大きな信頼を得た経験は、オペラ指揮者としての礎となっている。

帰国後は主にオペラ指揮者として活動し、2010年、池辺晋一郎「死神」で日本オペラ協会にデビュー。同年、五島記念文化財団オペラ新人賞を受賞して研修生として再度渡欧し、イタリアの劇場を中心に研鑽を積んだ。

最近では18年にマスネ「ナヴァラの娘」（日本初演）、19年にブッチェーニ「ラ・ボエーム」、20年にはヴェルディ「リゴレット」、21年にはベッリーニ「清教徒」をそれぞれ藤原歌劇団と共演。20年11月には日生劇場にて「ルチア〜あるいはいはある花嫁の悲劇〜」も指揮し、好評を博す。堺シティオペラ、新国立劇場オペラ研修所等でも指揮。しなやかでありながらドラマティックな音楽作りには定評がある。

近年では管弦楽にも力を入れており、読響、東響、東京フィル、日本フィル、神奈川フィル、名古屋フィル、日本センチュリー響、大響、群響、広響、兵庫芸術文化センター管等を指揮。

指揮を十束尚宏、星出豊、ティロ・レーマン、サルバドル・マス・コンデの各氏に師事。平成22年度（2010年）五島記念文化財団オペラ新人賞（指揮）受賞。2022年4月、大阪交響楽団ミュージックパートナーに就任。



©T.Tairadate



チェロ 佐藤桂菜 *Keina Sato, cello*

愛知県大府市出身22歳。現在ニューヨークのジュリアード音楽院に奨学生として在籍中。中学卒業後単身渡米、ボストンのウォールナットヒルズスクールフォージャーツに入学。同時期にニューイングランド音楽院・プレバトリースクールにダブルスクールで学ぶ。第74回全日本学生音楽コンクール全国大会大学の部第1位。あわせて毎日新聞社奨励賞、NHK会長賞受賞。他多数受賞。2016年NHK名古屋ニューイヤーコンサートに出演し、愛知県芸術文化劇場コンサートホールで円光寺雅彦指揮、名フィルと共演。NHK総合テレビにて放送。2019年NHKラジオ「リサイタル・ノヴァ」に出演。2022年大阪交響楽団ニューイヤーコンサートにてドヴォルザークのチェロ協奏曲を指揮者の園田隆一郎氏と共演。これまでに小澤征爾、竹澤恭子、金子三勇士、清塚信也の各著名人と共演の他、多数のソロリサイタルを行う。カザルス音楽祭、ミュージックアルバム音楽祭、カーティス音楽院サマーフェスティバル、小澤国際室内楽アカデミー興志賀、霧島国際音楽祭、ロームミュージックセミナーなどに参加。フランツ・ヘルマーソン、ウェン＝シン・ヤン、堤剛、宮田大など各氏のマスタークラスを受ける。これまでに故久保田顕、廣岡直城、林良一、林裕、中木健二、花崎薫、山崎伸子、エマニュエル・フェルドマン

の各氏に師事。現在、デイヴィッド・フィンケル、クララ・キムの両氏に師事。2023年CHANNEL Pygmalion Days 参加アーティストに選出され、シャネル・ネクス・ホールにて全5回のリサイタルを行う。2021-2022年度ヤマハ音楽支援制度奨学生。

セントラル愛知交響楽団 *Central Aichi Symphony Orchestra*

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ等の依頼公演にも数多く出演。海外（2007年中国・2009年タイ・2017年韓国）でも公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。

